

若者が考える「日中の未来」Vol.4

日中経済とシェアリングエコノミー

—学生懸賞論文集—

2017年に日中関係学会が募集した第6回宮本賞(日中学生懸賞論文)で、最優秀賞などを受賞した16本の論文を全文掲載。若者が考える「日中の未来」シリーズの第四弾でもある。

元中国大使 宮本 雄二・監修
日本日中関係学会・編

日中の若者がいま何を考えているか？

「宮本賞」は、日中の若者が日本と中国ないし東アジアの関心に強い関心を持ち、よりよい関係の構築のために大きな力を発揮していけるように、そのための人材発掘・育成を目的とし、2012年からスタートした。テーマは「日本と中国ないし東アジアの関心に関わるもの」と幅広く設定している。第6回での募集者は「学部生の部」で32本、「大学院生の部」で22本。中国大陸の大学からも多くの応募があった。論文のレベルも年々、高まっており、日中の若者がいま何を考えているか、存分に知ることができる。

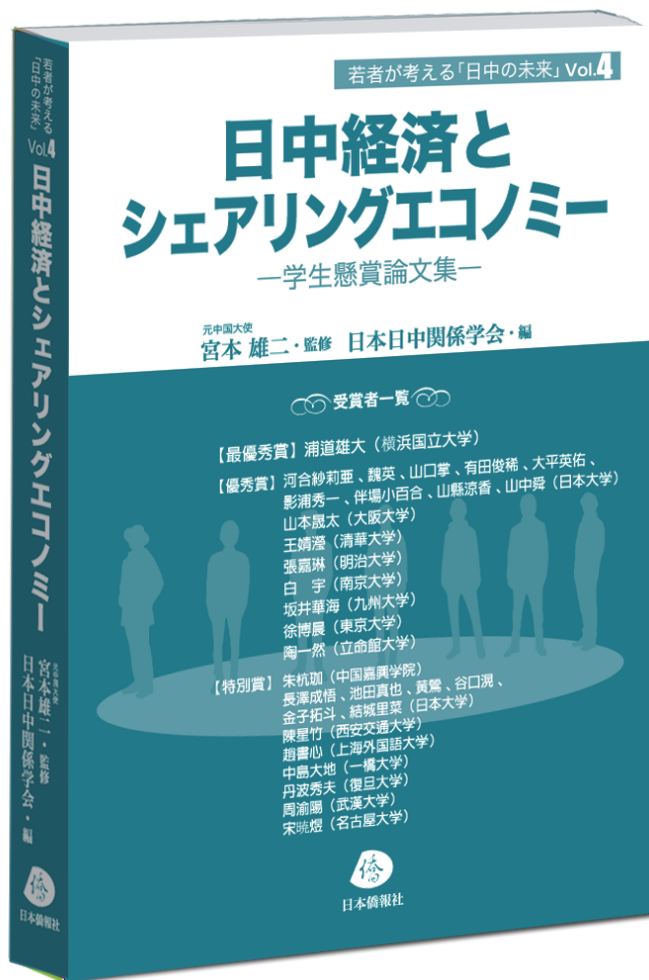
受賞者一覧

- 【最優秀賞】 浦道雄大(横浜国立大学)
- 【優秀賞】 河合紗莉亜、魏英、山口掌、有田俊稀、大平英佑、影浦秀一、伴場小百合、山縣涼香、山中舜(日本大学)
山本晟太(大阪大学)、王婧滢(清華大学)、張嘉琳(明治大学)
白宇(南京大學)、坂井華海(九州大学)、徐博晨(東京大学)
陶一然(立命館大学)
- 【特別賞】 朱杭珈(中国嘉興学院)
長澤成悟、池田真也、黄鷺、谷口渥、金子拓斗、結城里菜(日本大学)
陳星竹(西安交通大学)、趙書心(上海外国語大学)
中島大地(一橋大学)、丹波秀夫(復旦大学)
周渝陽(武漢大学)、宋曉煜(名古屋大学)

好評発売中！

- 第一弾『日中間の多面的な相互理解を求めて』
- 第二弾『日中経済交流の次世代構想』
- 第三弾『日中外交関係の改善における環境協力の役割』

【監修者紹介】 宮本雄二(みやもと ゆうじ)：1969年外務省入省。以降3度にわたりアジア局中国課に籍を置くとともに、北京の在中華人民共和国日本国大使館駐在は3回を数える。90年から91年には中国課長を、2006年から10年まで特命全權大使を務める。このほか、85年から87年には軍縮課長、94年にはアトランタ総領事、01年には軍備管理・科学審議官、02年には駐ミャンマー特命全權大使、04年には沖縄担当大使を歴任。現在は宮本アジア研究所代表、日中友好会館副会長、日本日中関係学会会長。著書に『これから、中国とどう付き合うか』(日本経済新聞出版社)、『激変ミャンマーを読み解く』(東京書籍)、『習近平の中国』(新潮新書)、『強硬外交を反省する中国』(PHP新書)。



ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トーハン 日販 その他 取次コード：5752

 <p>日中経済とシェアリングエコノミー ISBN 978-4-86185-256-5 発行日：2018年3月31日 A5判 244頁 並製 定価：本体 3000円 + 税</p>	<p>注文部数</p>	<p>ご注文 / 番線印</p> <p>注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください</p>
	<p>部 (送料無料)</p>	
<p>送信 FAX 03-5956-2809</p>		